

# 第3回フォーラム

## 生活産業部会

2023年上期の振り返りと今後の展望

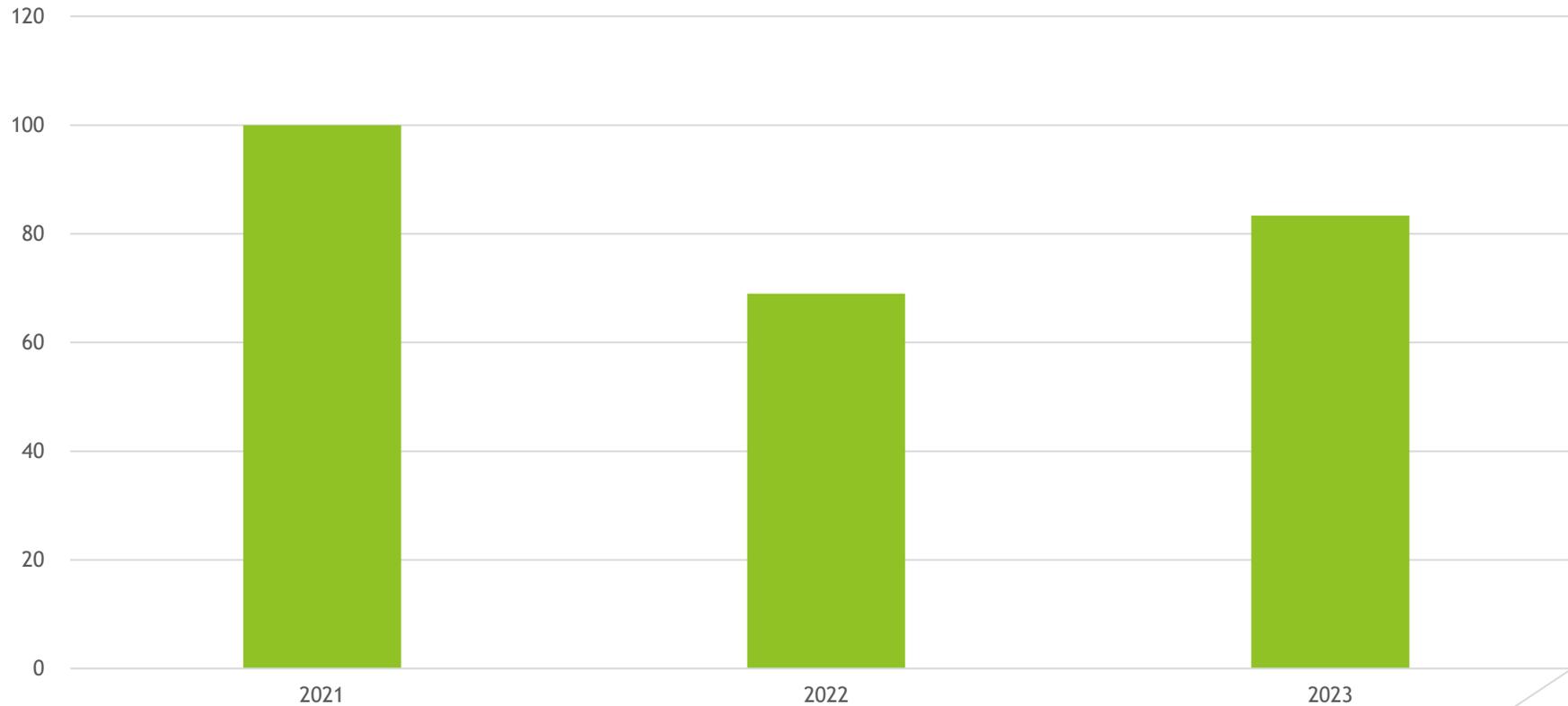
2023年9月5日

# 本日の内容

- ▶ 1. 建設・不動産・エネルギー関係の2023年上期振り返り
- ▶ 2. 繊維関係の2023年上期振り返り
- ▶ 3. 建設・不動産・エネルギー関係の2023年通期展望
- ▶ 4. 繊維関係の2023年通期展望
- ▶ 5. 中南米における事業展開～ルーラ新政権の経済政策・外交政策を踏まえて(各社意見)
- ▶ 6. 繊維関連トピックス (Organic Cotton)

# 1. 建設・不動産・エネルギー関係 2023年上期振り返り

受注金額



# 1. 建設・不動産・エネルギー関係 2023年上期振り返り

## <建設関連>

- ・ 政府の政策や金利動向の影響を受けた
- ・ 新大統領の動向予測で控えられた設備投資
- ・ 自動車販売不振による関連生産施設発注の減少

# 1. 建設・不動産関係

## 2023年上期振り返り

### <不動産関係>

#### 売買市場

- ・ 新築物件の転売相場の高値による販売不振
- ・ 中古物件は需要・供給ともに好調を維持

#### 賃貸市場

- ・ 単身向け需要は増加傾向
- ・ 賃貸価格の上昇により価格交渉は難航

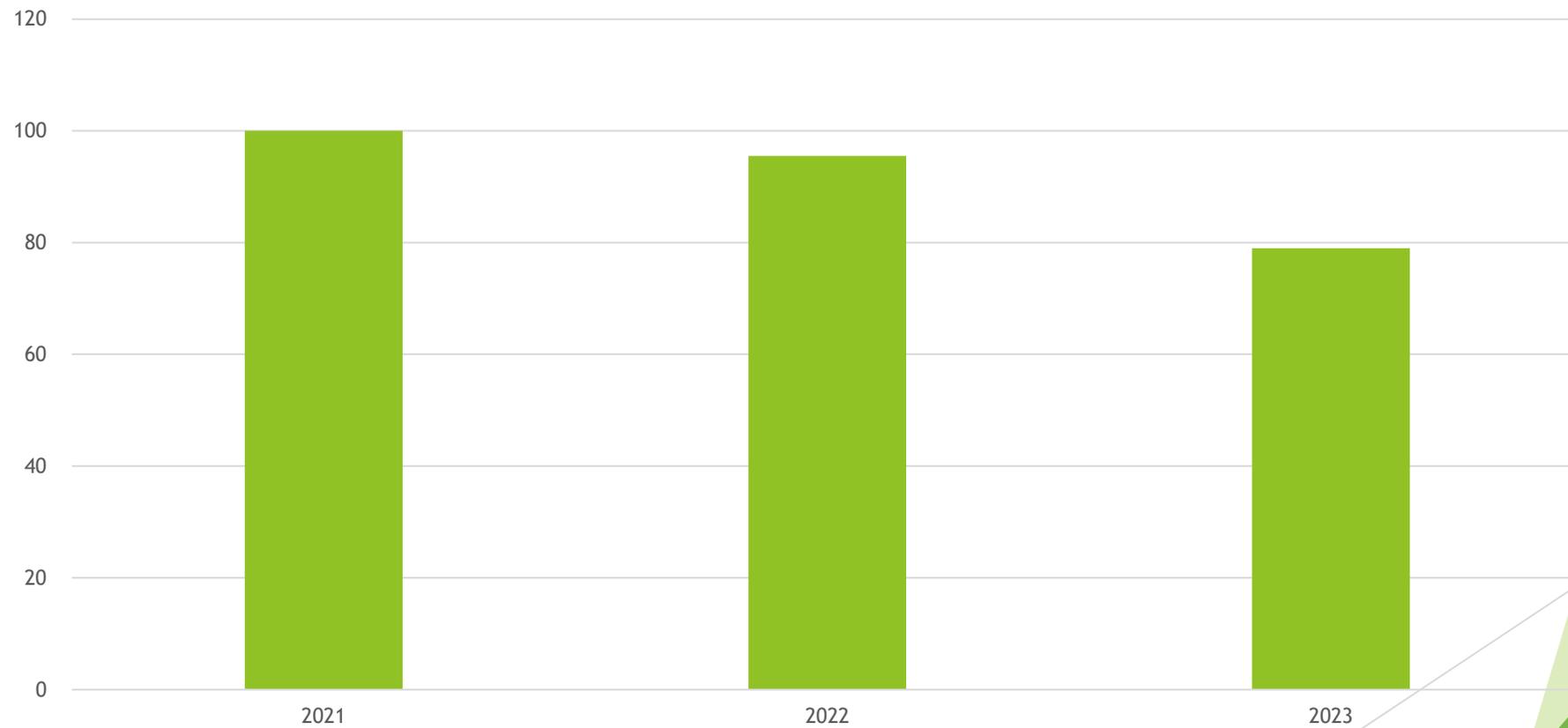
# 1. 建設・不動産関係 2023年上期振り返り

## <エネルギー関係>

- ・ 2022年は原料・資機材価格の高騰やインフレで慎重な発注判断
- ・ 2023年は国内ガス価格の高騰対策の投資が新規受注に繋がっている

## 2. 繊維関係 2023年上期振り返り

売上金額



## 2. 繊維関係 2023年上期振り返り

- 発注量の減少

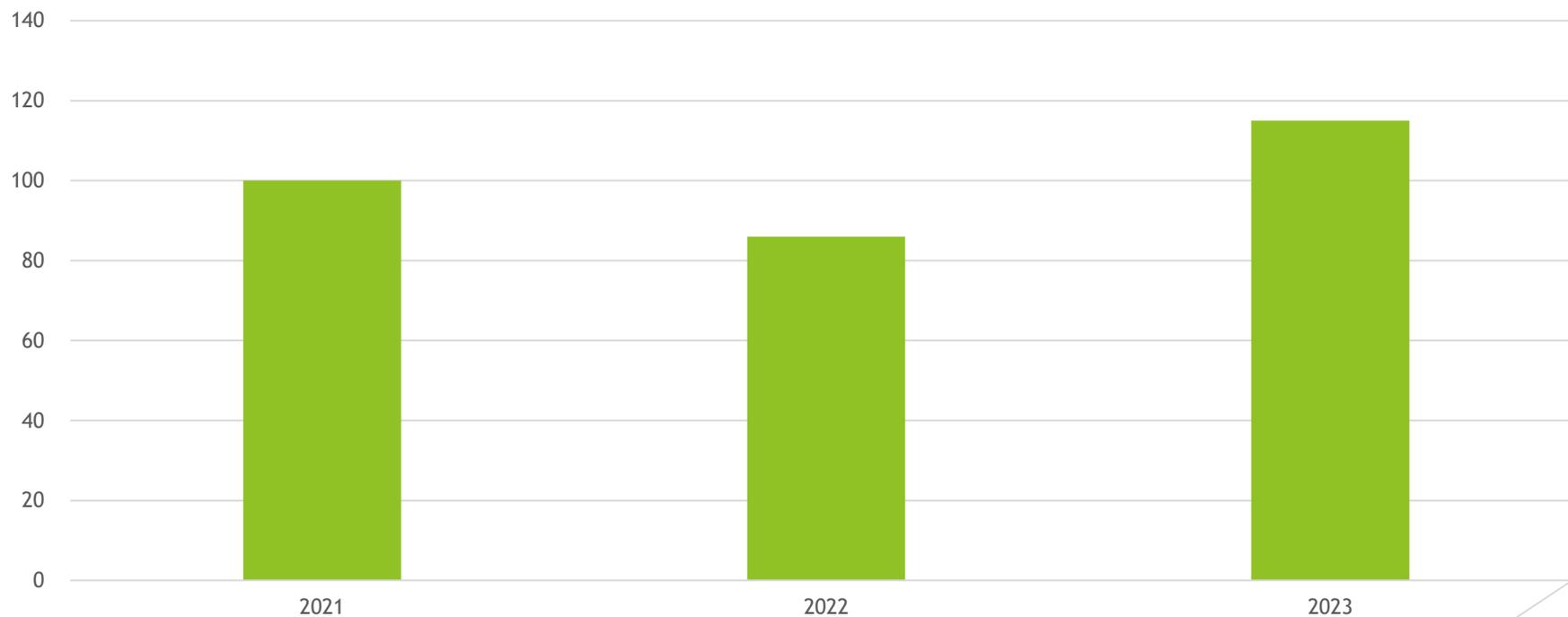
天候不順によるアパレルの在庫増で、2023年は発注量が大幅減少

- 原料相場下落を上回る販売単価下落

供給過多の状況により、販売単価は大きく下落  
操業縮小を余儀なくされている

### 3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

受注金額



# 3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

## <建設関係>

- ・ 下期の発注には期待がもたれる
- ・ 政策や金利の安定、次期消費期待などで設備投資の増加を見込む

# 3. 建設・不動産・エネルギー関係 2023年通期展望

## <不動産関係>

### 売買市場

- ・中古市場は居住用・投資用とも依然堅調
- ・新築物件は転売に苦戦  
(高価格が原因)

# 3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

## <不動産関係>

### 賃貸市場

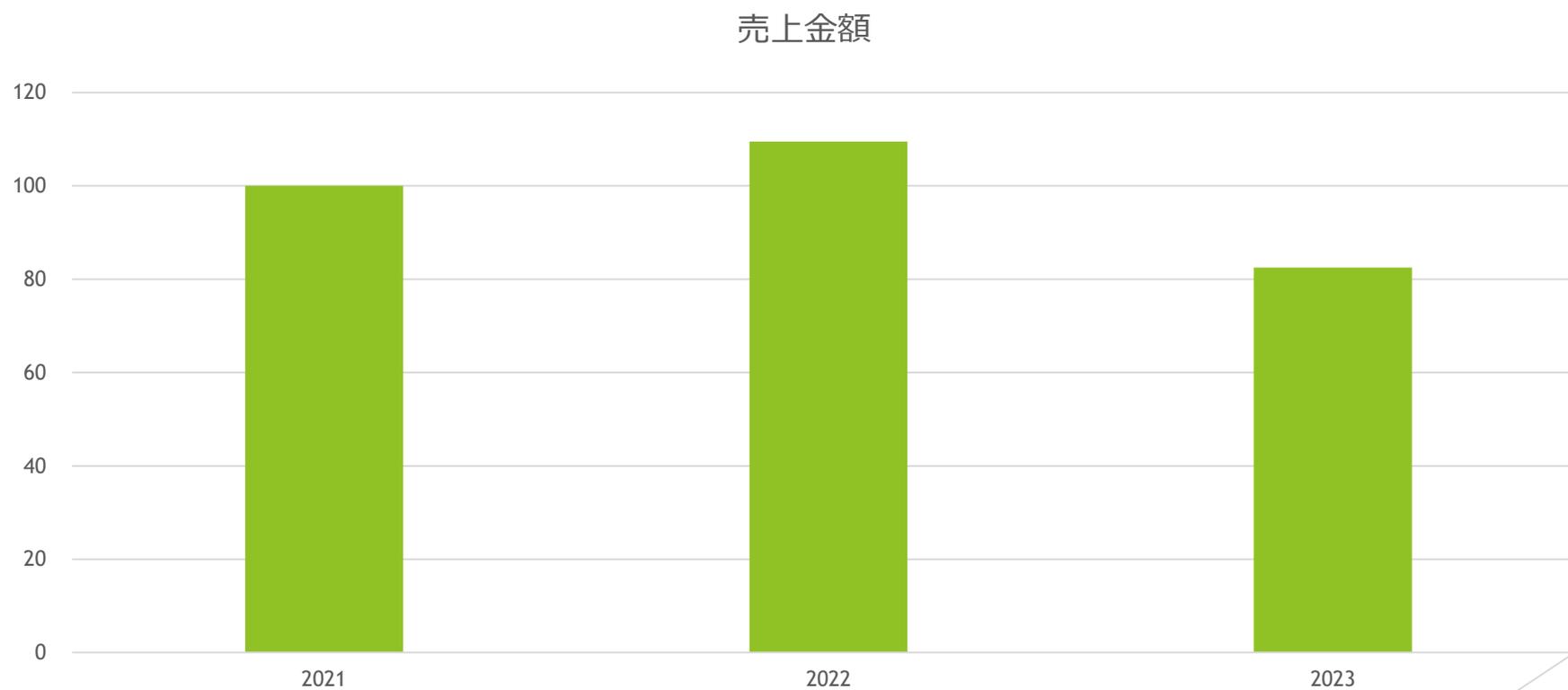
- ・引き続き家族世帯向け物件の供給不足
- ・邦人企業の家賃見直しにばらつき
- ・貸し手としては賃料の高さで借り手がつかないケースも多くみられる

# 3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

## <エネルギー関係>

- ・ 脱炭素化の加速による対応需要が増加
- ・ 既存客先の設備拡大・事業地域拡大に期待
- ・ 機能先鋭化による新規顧客の開拓

## 4. 纖維關係 2023年通期展望



## 4. 繊維関係 2023年通期展望

- ・ 2023年上期の流れがそのまま継続
- ・ 冷夏・暖冬の影響によるアパレル販売不振
- ・ 高インフレによる消費者債務の増加が衣料品への支出に影響

## 5. 中南米における事業展開

### <建設・不動産・エネルギー関係>

- ・ 海外からの投資増に備えた人材確保や発注拡大の準備が必要となる。
- ・ ブラジル人旅行者の日本渡航撤廃への期待。
- ・ 円安による日本での不動産購入や事業展開増加に対応できるスキーム作り、サポート環境の整備。

## 5. 中南米における事業展開

### <建設・不動産・エネルギー関係>

- ・ 『国営炭素排出権市場の創設』 『環境移行計画』  
は、エネルギー関連で大きな後押しとなる。
- ・ 政府の動きを注視し遅れることなく対応していく  
ことが必要。

## 5. 高インフレの影響を乗り越えるための施策

### <繊維関係>

- ・ 脱欧米が及ぼす繊維製品生産国からの輸入増で国内繊維産業の弱体化が懸念材料。
- ・ 特に中国からの製品輸入増加が国内生産に及ぼす影響が懸念される。
- ・ レアル高が顕著になれば輸出ビジネスも困難に。

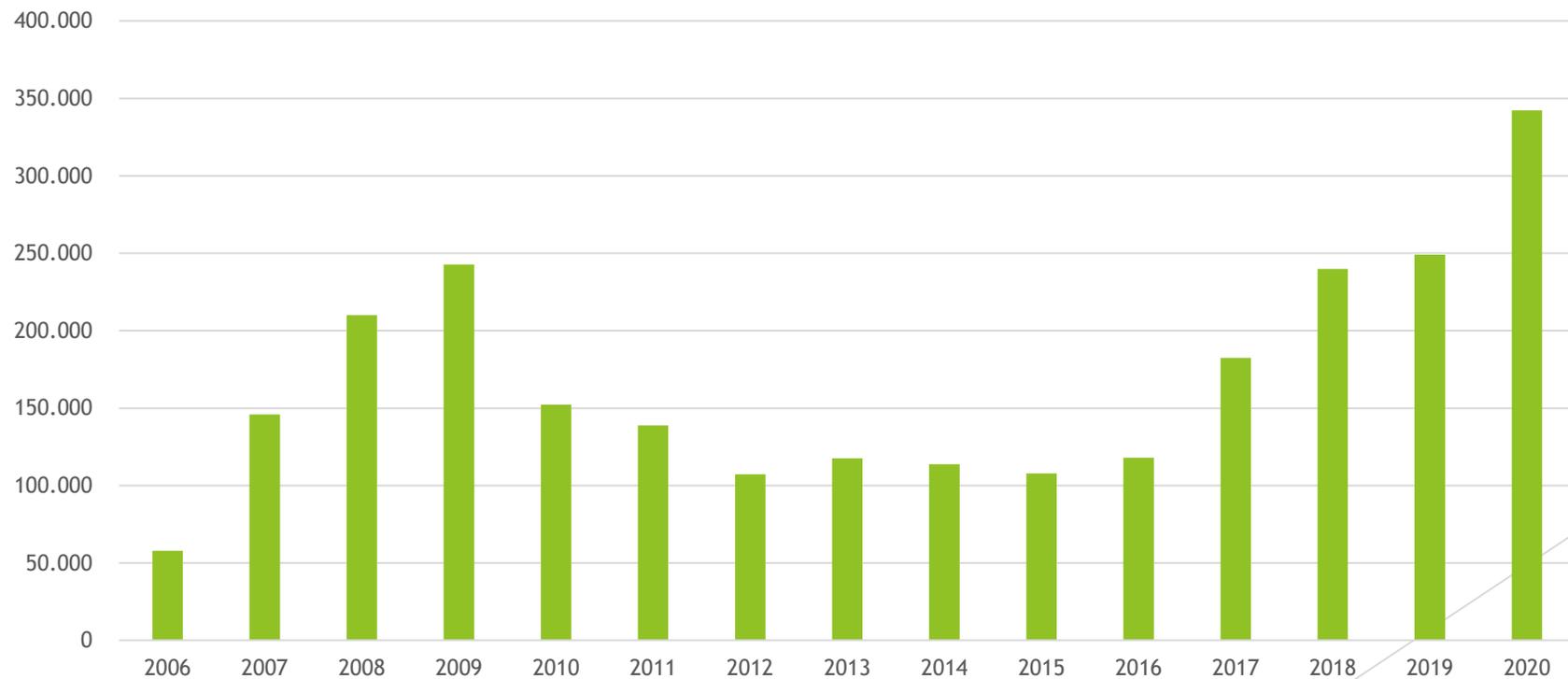
# オーガニックコットンの現状

## ▶ オーガニックコットンとは

1. 有機農法
2. 非遺伝子組み換え綿
3. 第三者機関による認証

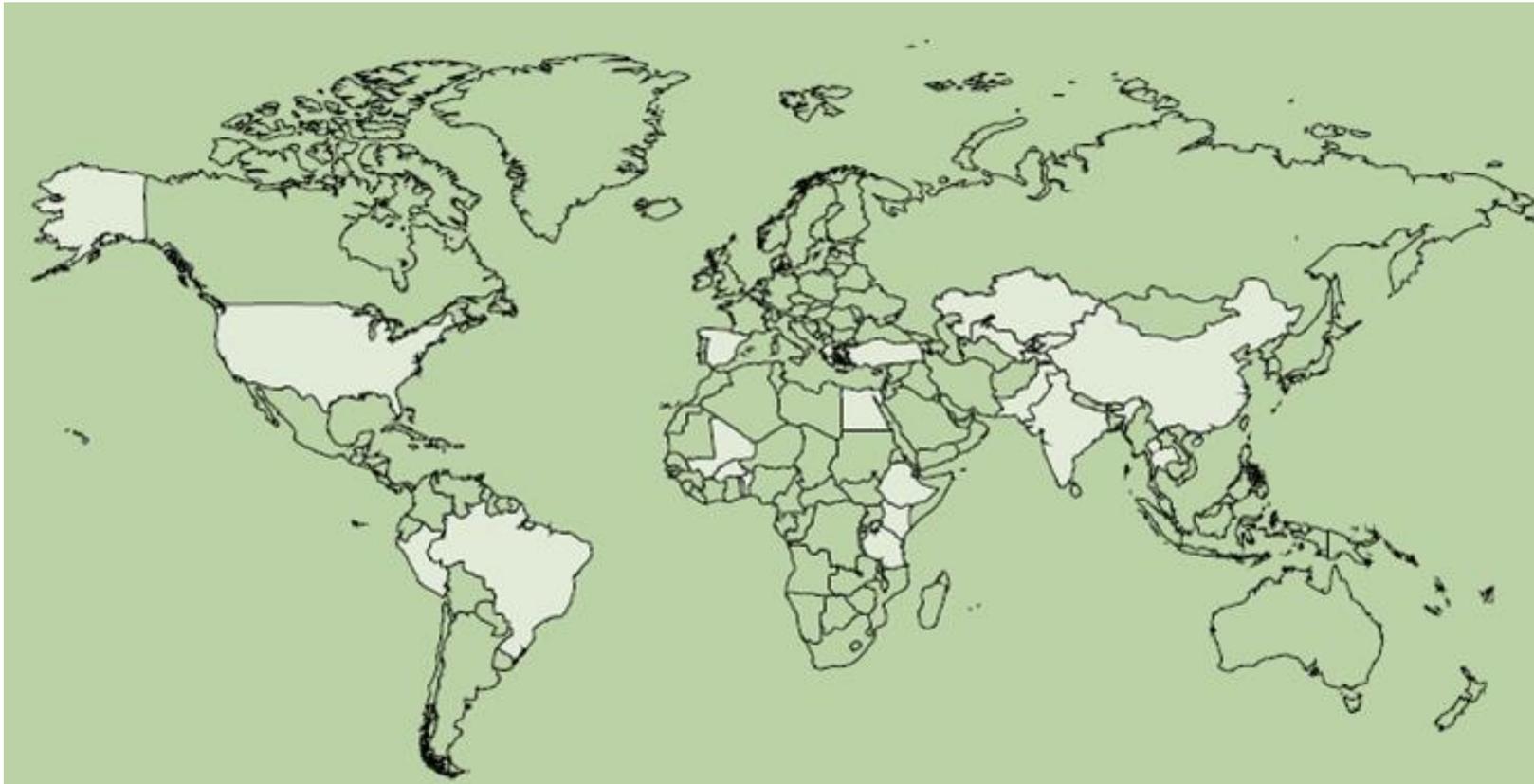
# オーガニックコットンの現状

## ▶ 生産量（トン）

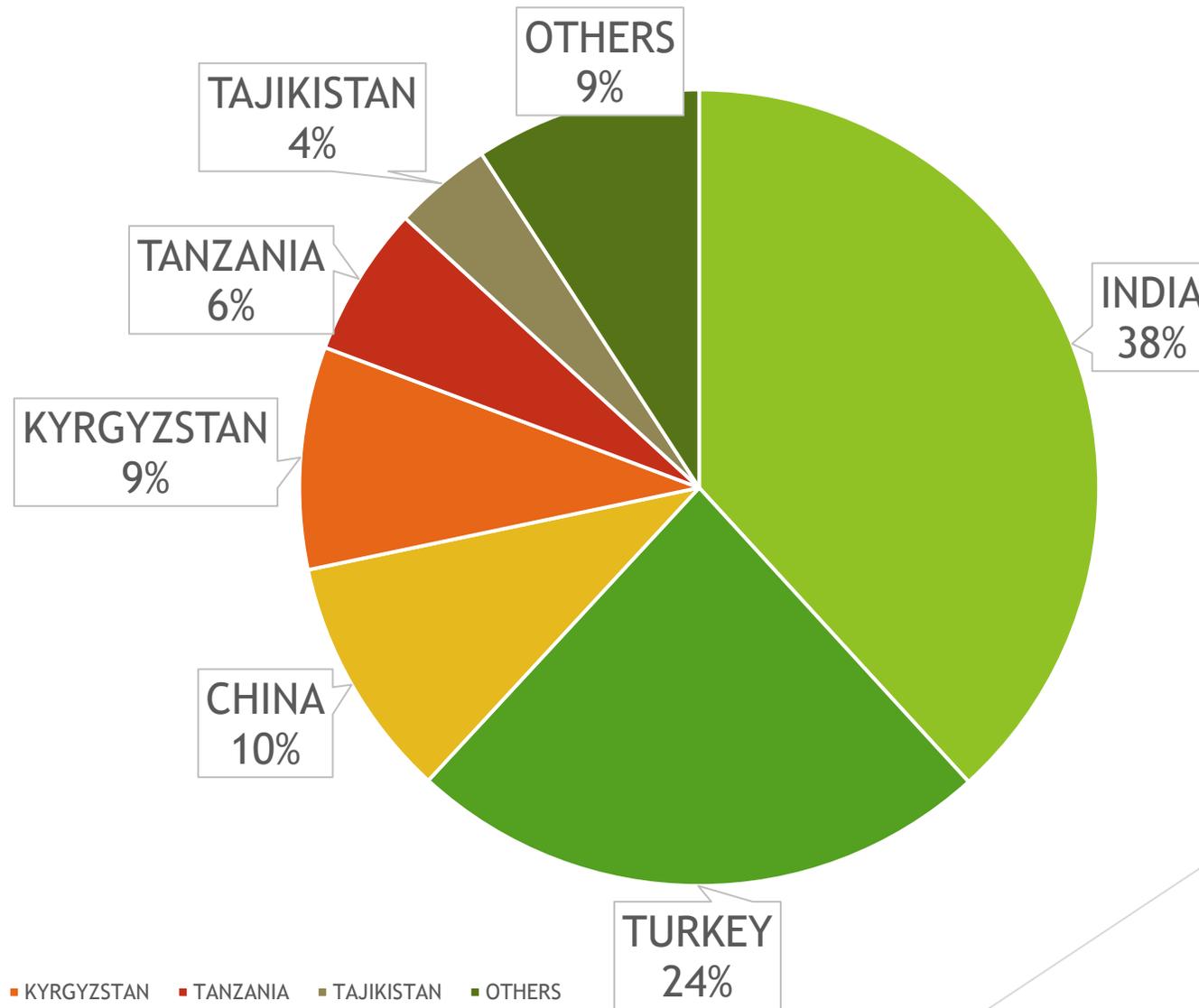


# オーガニックコットンの現状

## ▶ 主要生産国



# オーガニックコットンの現状



■ INDIA ■ TURKEY ■ CHINA ■ KYRGYZSTAN ■ TANZANIA ■ TAJIKISTAN ■ OTHERS

# オーガニックコットンの現状

## ▶ 今後の課題

- 第三者認証による手間とコスト
- 単位面積当たり生産量の低さ
- 偽装問題

ご清聴ありがとうございました